

公表:令和6年3月31日

事業所名 すみだステップハウスおおぞら にじの子

保護者等数(児童数) 299名

回収数 178名

割合 60%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	167	9	0	2	0	決まった場所での参加なので分からない移転前に比べて園庭がなくなったのが残念屋外活動するスペースがない以前より広くなったと思う大きな運動をするには狭いと感じる	昨年度の施設移転により、園庭がなくなるなど活動スペースの変化はありますが、引き続きお子さんが安心・安全に活動ができるように努め、屋外活動(近所の公園に遊びに行くなど)にも取り組んでいきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	161	8	1	7	1	いつも同じ先生にお願いしているのでわからない専門性が適切かはわからないが配置数は適切手厚さを感じている今でも十分だが、医師などへの質問などもう少し簡単にできるとありがたいなとなくの感じですが、先生が余裕がない様に思いました	研修を受ける/専門書を読んでも自己研鑽に励むとともに、集団療育での活動後の反省会を通して、職員全体の専門性の向上に努めています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	159	9	0	9	1		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	176	0	0	2	0	トイレが特に綺麗で快適になった	引き続き、お子さん・保護者が快適に利用できるように清掃や消毒を徹底していきます。
⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	162	5	0	11	0	①集団の内容があっているので問題ないが色々な興味の子達と同じことをするという部分で楽しめていない子もいるのではという点も気になる ②月1回のペースだったので正直それで何か変われるのか不安でした	①お子さんそれぞれの興味を考慮した上で興味を持って参加できるように、可能な限り提示の仕方や進め方を工夫していきます。 ②個別療育は月1回1時間という限られた時間となりますが、前月から見てお子さんの変化や成長したところを保護者と共有していくように努めます。	

適切な支援の提供	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	151	7	0	18	2	良く分からない、そういう説明を受けていないいまだに支援計画を受け取っていない	個別支援計画は、初回療育日にお渡しするのですが説明が不十分なところもあったかと思われます。今後は丁寧な説明に努めます。併せて、児童発達支援ガイドラインは東京都のホームページに掲載されていますので、これを周知していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	162	6	1	7	2		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	153	14	1	9	1	前回楽しかったことは残しつつ、声掛けを変えたり、苦手なことに挑戦したりと今日は何をやるのかと楽しみにしています	今後も、お子さんが安心して楽しく参加できるのかを考えながら工夫していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	62	29	23	43	21	交流する機会があるのかが不明このような活動は時間中にはないイベントで見られることもある今後の指導について保育園と連携してほしい幼稚園に通っているので問題ないそのような機会を持つ姿勢は見せて頂いているが、まだ実現していない	多くのお子さんが保育園等に通われていることから特別な機会をもうけていませんが、今後も在籍園や家庭と連携を取りながら支援を行っていきます。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	170	4	1	2	1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	161	4	1	7	5		

保護者への説明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	102	33	5	26	12	活動日以外の平日のことが多く参加できないいつもアドバイスを頂いたり助かっています利用期間が浅いので分からないがもう少しペアトレの機会が多くてよいと思う 父と遊ぶ会を月に1回の頻度で開いてほしい、父親にも大変さを理解してほしい声掛けの仕方など教えていただき、でも無理せず心の余裕があるときでよいと言っていたのは救われた。	ペアトレは実施していませんが、ペアトレの要素を取り入れながら、どのような接し方をしていくとよいかを職員から伝えていきます。 「父と遊ぶ会」などの交流会を今後も土曜日に設定します。交流会以外の平日にも、父親の参加をお勧めしています。今後も、夫婦で共有理解を持って子育てできるよう支援していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	159	13	3	2	1	保護者同志で意見を言いづらい部分はある、先生とは話しやすい先生によって差はある	活動後半に、保護者と話し合う時間を設け、共通理解に向け話し合いを重ねるように努めています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	158	15	3	2	0	助言のおかげで子どもの接し方が柔軟にできるようになった大変適切なアドバイスを頂いて心強いです個別で利用していますが毎回話を聞いていただき助かっています月に1回の療育でアドバイスをいただくのみ(それで十分)	活動後のフィードバックの時間に、育児に関する助言を行っています。必要に応じて電話での相談や土曜日に面談時間を設けています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	74	22	15	45	22	個人の意思によると思う対象外かと思う	父母の会は特にありません。定期的に土曜日に保護者交流会を開き、保護者同士の情報共有の機会を設けています。併せて、他クラスの保護者との交流会の機会も設けています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	145	10	0	15	8	これまでそのような機会がなかったので	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	155	12	0	4	7		

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	137	8	2	16	15		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	159	2	1	9	7	内部の様子は利用者にはわからない面談の時隣のかたの話が聞こえてきて、そのかたが薬を飲んでいるなどの個人情報が漏れており、他の方に知られたくない情報が今後漏れてしまったら嫌だなと感じた	今後、児童の話をする際には近くに保護者がいないかを確認する他に、場所を移して話すように努めます。 また、個人情報の取り扱いには最大の注意をはらい、紛失・漏洩がないように心がけていきます。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	104	13	4	37	20	感染症対策や緊急対応マニュアルは頂いたが、訓練は分からない	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知していきます。また、災害発生を想定した避難訓練を今後も定期的に行なっていきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	81	17	5	52	23	訓練に参加したことがない	避難訓練は集団療育に通っているお子さんが対象となっております。今後も、定期的にクラスごとに且つ施設全体での避難訓練を行い、訓練の日程を周知していきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	152	16	2	2	6	先生に会えるのを楽しみにしています毎回とても楽しんでますとても楽しそうです様々な課題がある中でも行き渋りなく通所できているどこよりも楽しみにしている、本人のニーズを満たしてくれるのが分かっているからだと思う本人の気持ち的に行きたい時と行きたくないの差が激しい。もう少し子どもが意欲的に出来たら嬉しい通うことは嫌がっていないが課題を行うことに抵抗感がある様子通い始めた頃は何をされるか分からず、怖がっていましたが嫌なことはされないと分かり、楽しく通っています	お子さんが興味を持って意欲的に参加できるように活動内容を工夫していきます。参加が難しいお子さんに対してもその理由と対応を担任間で共有しながら、お子さんの様子や状況にあわせて支援をしていきます。 また、プログラムについてのご意見がありましたら担当までお知らせください。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	152	15	1	4	6	通所して親が学ぶことが多く、子どものことをよく理解し、的確なアドバイスをしてくださる先生もいて大変感謝していますとても満足しています	今後も利用者の皆さまにご理解いただけるよう丁寧な説明を心がけながら支援を行っていきます。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	16	4	1	グループによって配置を変えている。
	②	職員の配置数は適切であるか	13	8	0	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	8	0	多層階の為、情報伝達しにくい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	3	0	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	14	7	0	会議等で情報共有している
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	19	2	0	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	20	1	0	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	19	2	0	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	18	3	0	
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	19	2	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	7	1	アセスメントツールがあるが一元化されていると尚良い
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	5	0	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19	2	0	職員の資質や捉え方によって支援の仕方がずれていることもある。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	19	2	0	行なっているが、もう少し時間をかけて話したい。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	17	4	0	子どもの発達に合わせて活動プログラムを組み立てている
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	17	4	0	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	20	1	0	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	19	2	0	行なっているが、まだ充分とは言えない状況がある。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	20	1	0	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	19	2	0	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13	7	0	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	18	3	0	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	6	1	医療ケア児はいない。その他の連携は支援している。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10	4	1	医療ケア児はいない。その他の連携は支援している。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18	4	0	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17	3	1	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	6	4	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	3	10	交流の機会としては設けられていないが散歩先であった時に遊ぶことがある。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	7	4	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	19	2	0	
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	11	2		

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	16	5	0	
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	20	1	0	
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	21	0	0	
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	4	3	保護者交流会などで連携を支援しているが、回数や時間がもっと持てると良い
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	0	0	
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	19	2	0	
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意しているか	20	1	0	
	㉗	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	18	3	0	
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	17	3	0	
	非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	19	2	0
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	21	0	0	
㉛		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	19	1	1	
㉜		食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	8	3	3	食事の提供をしていない。
㉝		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	19	0	1	
㉞		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	20	0	0	

④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	19	0	1	
---	---	----	---	---	--

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。